

採択事業者3社の取り組みを Pick up!

計画づくりは大変ですが、文字にすることで自社の強みや今後の経営目標がはっきりします。初めての方もぜひチャレンジしてみてください!



羊Diningひとみしり
店長 角守良彦 さん

持続化補助金の採択を受けるのは2回目、今回は客席を増設し、来店された方が「満席で店内に入れない」という状況を緩和することができました。今回は、入り口の段差や通路をバリアフリーにすることで、高齢の方や障害のある方が気兼ねなく利用できる店にしたいと考え、申請を決めました。

計画書は前回と同じく、商工会議所の支援を受けてブラッシュアップさせていきました。取り組み内容以外にも売上の効果やその理由について書く必要があるのですが、説得力のある内容にするためのアドバイスを聞くことができ、大変参考になりました。

補助金の申請をきっかけに、お客様について考える時間がますます増えました。これからは皆様に愛される店を維持できるよう努力していきます。

浅野経営支援員



角守さんは「お客様の満足度を上げるために何をすべきか」が明確で、申請書づくりにも真摯に取り組まれました。採択後も継続的にフォローを行い、補助金活用の効果が出るようサポートしていきたいです。

補助金・助成金活用のススメ

店内の一部バリアフリー化による顧客満足度UP

自分のような小さなお店でも大丈夫かと最初は不安で、どのように進めてよいか手順を理解するのに苦労しましたが、無事採択されて安心しました。



星 時
店長 樋口尚敬 さん

当店は、2年前にオープンし、店主こだわりのコーヒーや手作りケーキを提供しています。しかしお店の場所がわかりにくかったり、メールでのお問い合わせへの対応が遅れるなど「情報発信の弱さ」が気がかりでした。

そんな折、同じフロアでビルオーナーが運営するレンタルスペース事業を当社が引き継ぐこととなりました。これにより、イベントを誘致し、レンタルスペースの稼働率を上げることで利用者への飲食提供も増える、というカフェとの相乗効果を発揮できるようになりました。

これを契機に当補助金を活用し、課題であった情報発信(①公式ホームページの制作②タウン誌広告への掲載③ラジオ広告)に力を入れ、集客と売上の増加を実現しようと決意しました。

平井経営支援員



現在、取り組むべき課題が明確であったこと、補助事業の効果が具体的かつ数値化されていたことから、事業計画の策定と申請書類の準備は順調に完了しました。今後は、より効果的な情報発信ができるように支援を行います。

国や県、市などによる様々な補助金・助成金が用意されています。まずは自社の分析から始め、今後の経営計画を策定し、そのステップごとにマッチする支援メニューを探してみましょう。

レンタルスペースとカフェとの相乗効果。情報発信の強化による集客の増加

今後もこの様な、小規模事業者への施策の情報を教えていただきたいと思えます。ありがとうございました。



榎安田屋家具店
代表取締役 鷲見浩一 さん

実は、昨年「平成30年7月豪雨」により店舗の地下1階が地下水の浸水により被害を受けました。その時、商工会議所の職員の方から「被災地域販路開拓支援事業 小規模事業者持続化補助金」という補助金を教えていただきました。慣れない経営計画書の作成でしたが会議所の支援により無事採択を受ける事ができエレベーターやエアコンの修理が出来ました。

そして、今年も「レンタルスペース専用ホームページ」の作成やお客様の利便性を高める為に「入口ドアの改修」・「サイン看板の設置」を目的に申請を行い、無事採択を受ける事が出来ました。

松田経営支援員



鷲見社長は地元商店街の役員を務められ、率先して街の賑わいを創出する為に各種イベントに取り組まれています。

今回の申請においても、レンタルスペースやシェアオフィスの利用者を増やすことにより、商店街の活性化の一助になることも目的とされました。今回の補助事業が更なる商店街の活性化にも生かされることを期待します。

ホームページ作成と入口ドア改修で利用者拡大

小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が事業の持続的な発展に向けた経営計画を作成して販路開拓に取り組む際の経費の一部(上限50万円)が補助される「小規模事業者持続化補助金」。今年も4/25~6/12の間に公募があり、このたび採択結果が発表されました。



日本を支える「小規模事業者」

日本の商工業者の実に9割近くが「小規模事業者」で、雇用やサービスの提供により人々の生活を支えています。しかし人口減少やグローバル化など市場環境は厳しくなり、事業の継続が困難で廃業に至るケースが増えています。そこで登場したのがこの補助金です。自店を取り巻く経済動向や地域の展望を踏まえ、どこに活路を見出すか見極め、方針を定め必要な対策を計画立てる。その為に必要な費用を国が補助してくれるというわけです。大企業とは異なり、資源が限られた小規模事業者だからこそ注力すべきポイントを絞り込むことが大切です。

採択者向け説明会の様子

- ### 対象となる取組(例)
- 1 広告宣伝**
 - 新たな顧客層の取込を狙い、チラシを作成・配布
 - 店舗の認知度向上を目的とした看板の設置
 - 2 集客力を高めるための店舗改装**
 - 幅広い年代層の集客を図るための店舗のユニバーサルデザイン化
 - 3 商談会・展示会への出展**
 - 新たな販路を求め、国内外の展示会へ出展
 - 4 新たな商品・サービス提供のための製造機器の導入・試作開発の実施**
 - 3Dプリンターを導入し、新商品の開発
 - 原材料を購入して新製品・商品の試作開発
 - 5 ITを活用した広報や業務効率化**
 - ホームページの開設やネット販売システムの構築管理システムの導入

経営計画に基づいて実施する販路開拓等の取り組みに対する50万円を上限とした補助金(補助率:2/3)

小規模事業者持続化補助金とは

今回の公募に対し、岐阜商工会議所から124事業者が採択を受け、8月19日(月)に今後の事業を遂行するためにあたる留意点などについて確認する説明会を開きました。